

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：アートチャイルドケア鶴見	種別：保育所
代表者氏名：園長 浅野井孝志	定員（利用人数）：53名
所在地：〒 230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-10 あしほ総合クリニック2階	
TEL：045-503-4815	ホームページ：https://www.the0123child.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2010年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：アートチャイルドケア株式会社	
職員数	常勤職員： 7名 非常勤職員： 8名
専門職員	管理栄養士 1名 調理師 1名
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等)
	2室 冷暖房・調理室・医務室（職員室兼用）・多目的トイレ・沐浴室

## ③理念・基本方針

「自分らしく」生きていく事のできる子どもを育てる。子どもの人格を尊重し子どもたちが本来持っている生きる力を育み何を学ぶかよりもどう学ぶかを考えられる子どもを育てたい。私たちは、乳幼児の養護・教育の専門家として、子どもたちの「生きる力」を育むことにより、健やかで、思慮深く、思いやりがあり、他者と関わって生きる子どもを育てる事を目標に保育を行います。

また、社会環境が大きく変わっていく事を前提に、何を学ぶかよりも、どう学ぶかを考えられる子どもを育てることにより、どんな時代になろうとも、子どもたちが主体的に自分らしく生きていく道を歩めるようになって欲しいと考えています。さらに、現代の社会環境が子どもたちの健康や発達に与えている状況や環境を認識して保育活動に活かしていく事で、子どもたちの健やかな成長を支えたいと考えています。

そんな自分らしく、健やかに成長していく事ができる子どもが、やがて、他者と協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感溢れる市民となって社会を活性化すると信じています。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

質の良い睡眠と正しい生活リズムは「生きる力」の基礎を構築します。アートチャイルドケアでは、専門医と協同で睡眠をはじめとした生活リズムを改善していく取り組みである「眠育」を行っています。脳科学研究の進歩とともに、乳・幼児期における子どもたちの睡眠（質・量・リズム）発達が脳の発育・発達、さらには学習意欲や学力に大きく関係していることが明らかになっています。1歳から小学校にあがるまでの子どもに必要な総睡眠時間（夜間睡眠時間＋昼寝時間）は11時間程度と言われており、特に、夜間睡眠は10時間が必要です。子どもにとって眠ることは、育つことです。睡眠や食事など生活リズムを家庭と共有し、子どもたちの健やかな成長を援助していきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月1日（契約日） ～ 2021年4月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（令和元年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

**外国籍の保護者への対応に力を入れて取り組んでいる**

地域柄、外国籍の子ども及び保護者の割合が高いことから、地域の関係機関の協力を密にして連携しながら対応できるように取り組んでいる。入園後のおたよりにはフリガナを振ったり、前もって保育予定表の提出をしてもらったりなど保護者に保育内容をわかりやすく伝えられるように努めている。また、英語・中国語がわかる職員も在籍しており、個別にサポートすることにも力を入れている。

**少人数である特性を活かした保育に取り組んでいる**

園内はオープンスペース、少人数の保育であるという特性を活かし、子ども同士がクラスを超えて家族のように仲良く過ごすことができるように援助している。兄弟関係も多いことから、兄弟姉妹の姿が見えることは安心感につながるという考えのもと、子どもの思いに寄り添う保育に取り組んでいる。友達の兄弟にも優しく接することが出来るようになったり、年上の子の活動を見て期待を持ったりなど、子どもの成長する姿が見られている。

◇改善を求められる点

**・今後の地域との関係づくり、交流に期待したい**

園長は今年度着任したばかりであるが、コロナ禍において園長会なども通達・連絡が中心となっており地域との触れ合いの機会が得られていないことを課題としている。従来からの引き継がれた地域との交流も含め、またコロナ禍による新しい生活様式の中での取り組みについても模索し、今後の地域との関係づくりに期待したい。

**・環境設定の工夫については継続的に話し合いを行っている**

オープンスペースでアットホームであり良いも多いが、声や音が気になってしまうことやクラスの活動に制限があるなどの課題があることも認識しており、課題と考えている。担任を中心に保育士同士が協力し合い、子どもたちがさらに活動に集中できるような環境設定の工夫について話し合い、継続的に取り組みを進めている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者の立場から見ていただき、普段あまり意識できていない部分もご指摘・ご指示いただき、より改善していく部分が明確になりました。変えていかなければならないことに関しては早急に対応し、今後はより意識して良い保育ができるよう努めていきたいと思っております。  
ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり